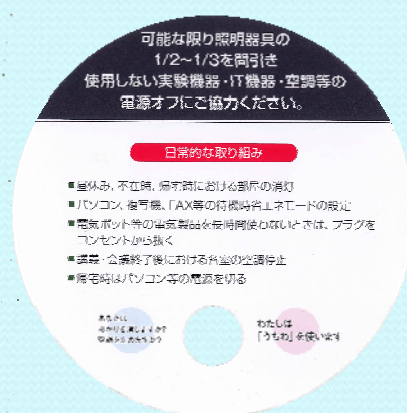




名古屋大学における サスティナブルキャンパスへの取組み

2011 地球にやさしく、名古屋大学から



名大うちわで省エネを

北海道大学 サマーセミナー

平成 23年 8 月 24 日

国立大学法人名古屋大学

参事 山口博行

名古屋大学主要キャンパス位置図



■主要キャンパスの施設概要



東山キャンパス

(8学部、5独立研究科、3研究所等)

敷地面積 : 約 698,000 m²
建物延面積 : 約 414,000 m²
棟 数 : 約 240 棟
構 成 員 : 約 21,000 人

附属図書館

敷地面積 : 約 89,100 m²
建物延面積 : 約 186,000 m²
棟 数 : 約 23 棟
構 成 員 : 約 2,300 人

鶴舞キャンパス

(医学部医学科 ・ 医学部附属病院)

動物実験施設

附属病院等



敷地面積 : 約 48,500 m²
建物延面積 : 約 25,000 m²
棟 数 : 約 15 棟
構 成 員 : 約 1,200 人

大幸キャンパス

(医学部保健学科)



名古屋大学は現在、
附属図書館、動物実
験施設、附属病院等
の3つのESCO事業を
実施

■ 名古屋大学東山キャンパス構内施設概要



■ 大学のサステイナブルの条件とは

- ①経営力がある
経営的に安定している、トップのリーダーシップ
- ②研究力がある
世界的な研究成果が出ている、著名な研究者がいる
- ③教育力がある
優秀な学生を惹き付ける魅力がある
各分野のトップで活躍する卒業生が多い
- ④社会力がある
地域・社会貢献、国際貢献、男女共同参画、法令遵守
危機管理能力
- ⑤財務力がある
産学連携、共同研究、寄付金、補助金等の獲得

■ サステイナブルキャンパスとは

① マネジメント体制の確立と実行

FM、EM、SM(RM、CM、BCM)、EM等を統合的に実施されている

② 研究環境の整備

世界最高水準の研究環境が整備されている

③ 教育環境の整備

優秀な学生を惹き付けられる教育環境の整備

在学生が他に誇れる教育環境・キャンパス環境の整備

卒業生や退職職員が訪れやすい・訪れたいと思う環境の整備

④ 法令遵守施設、社会への公開性の整備

地域や社会との連携施設、キャンパスのグローバル化

保育所・学童保育施設、社会に開かれたキャンパス

安全・安心な施設・設備、ユニバーサル、ユビキタスの充実

⑤ 維持管理、運用管理、チャージ制度(ファイナンス)

施設・設備の点検・見直し、利用実態の把握、施設の流動化

受益者負担制度の導入、ファイナンス力(補助金、寄付金等)

長期修繕積立金・減価償却費積立金制度の導入



■ サステイナブルキャンパスを実現するためには

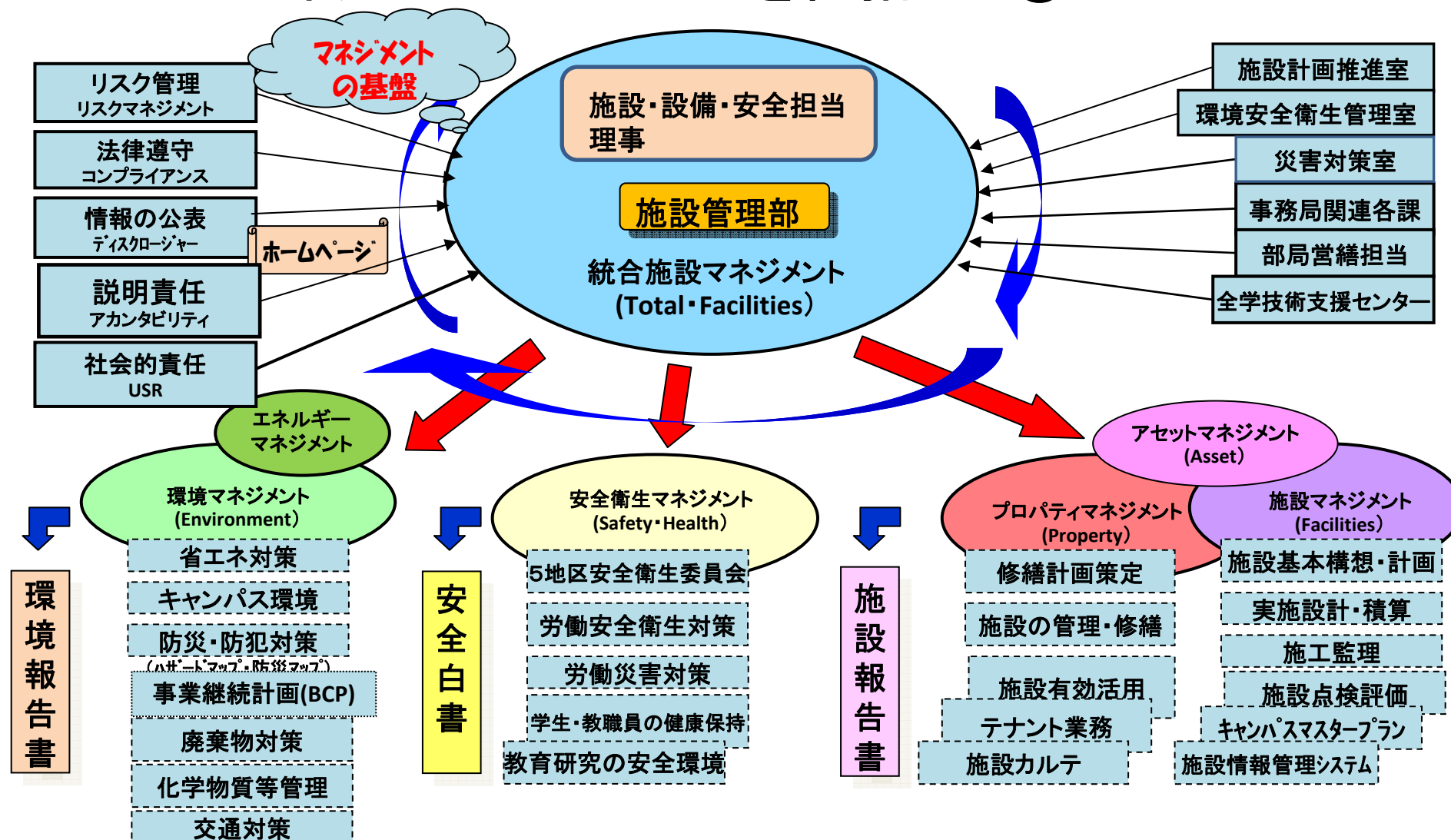
- ①逆転の発想・・・持続的発展しないにはどうすればいいか？
現状のまま何もしない、ルーチンワークのみをこなす
- ②サーチェーン遺伝子の活性化
今、目の前にある危機に目覚め・認識することが大事
- ③危機感の共有
何か行動を起こす、何か新しいことを始める
- ④現状の把握（分析）と見直し、作業と知的生産の区別
新しいことを始める余裕を（時間）つくる
自分でしなくてはならないものとそうではないものを区別する
- ⑤期待に応える努力、優秀な人材の養成
社会が、大学に何を求め、何を期待しているか
期待に応えられる人材を創り出す

■ サステイナブルキャンパスを目指して①

★名古屋大学の施設マネジメントの基本方針

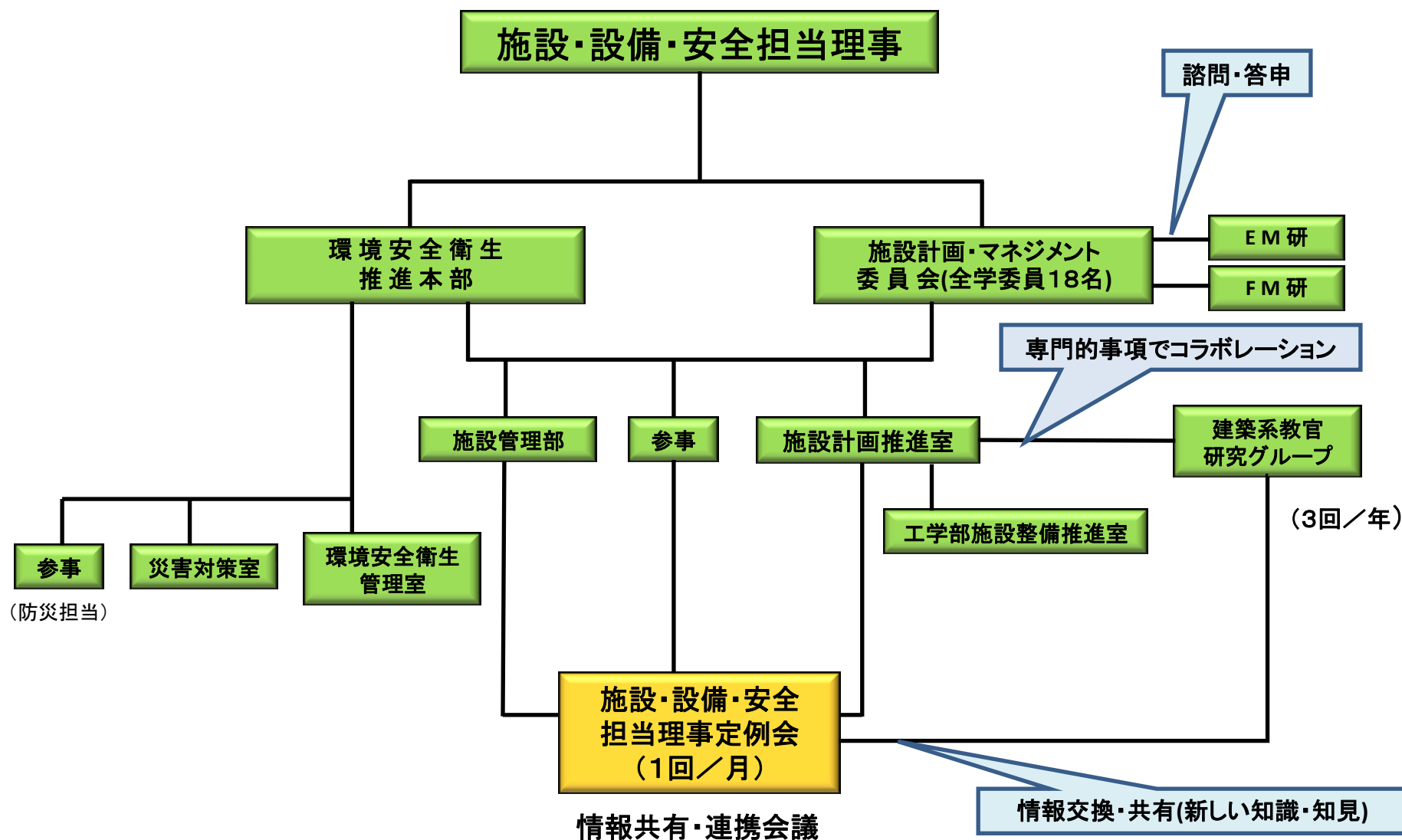
- ①新しい組織を作るのではなく、既存の組織の連携強化と各組織の変革により有機的結合体でマネジメントを実行していく。
- ②事務職員(施設系)のみではなく、事務系職員、教官(理系・文系)、技術職員の全員参加型を目指している
- ③学内には、いろんな分野の高度な専門家が多数いる。
その力を結集して、新しいプロジェクトや課題に柔軟に対応する。
- ④委員会方式ではなく、メンバーを働くプロ集団で構成する。
業務やプロジェクトに、その道のプロや有識者を集める
- ⑤必要に応じて、組織をつくり、業務が終了したら解散する。
常に変革と革新が必要、長期間同じ組織だと守りに入り組織は腐る

■ サステナブルキャンパスを目指して②

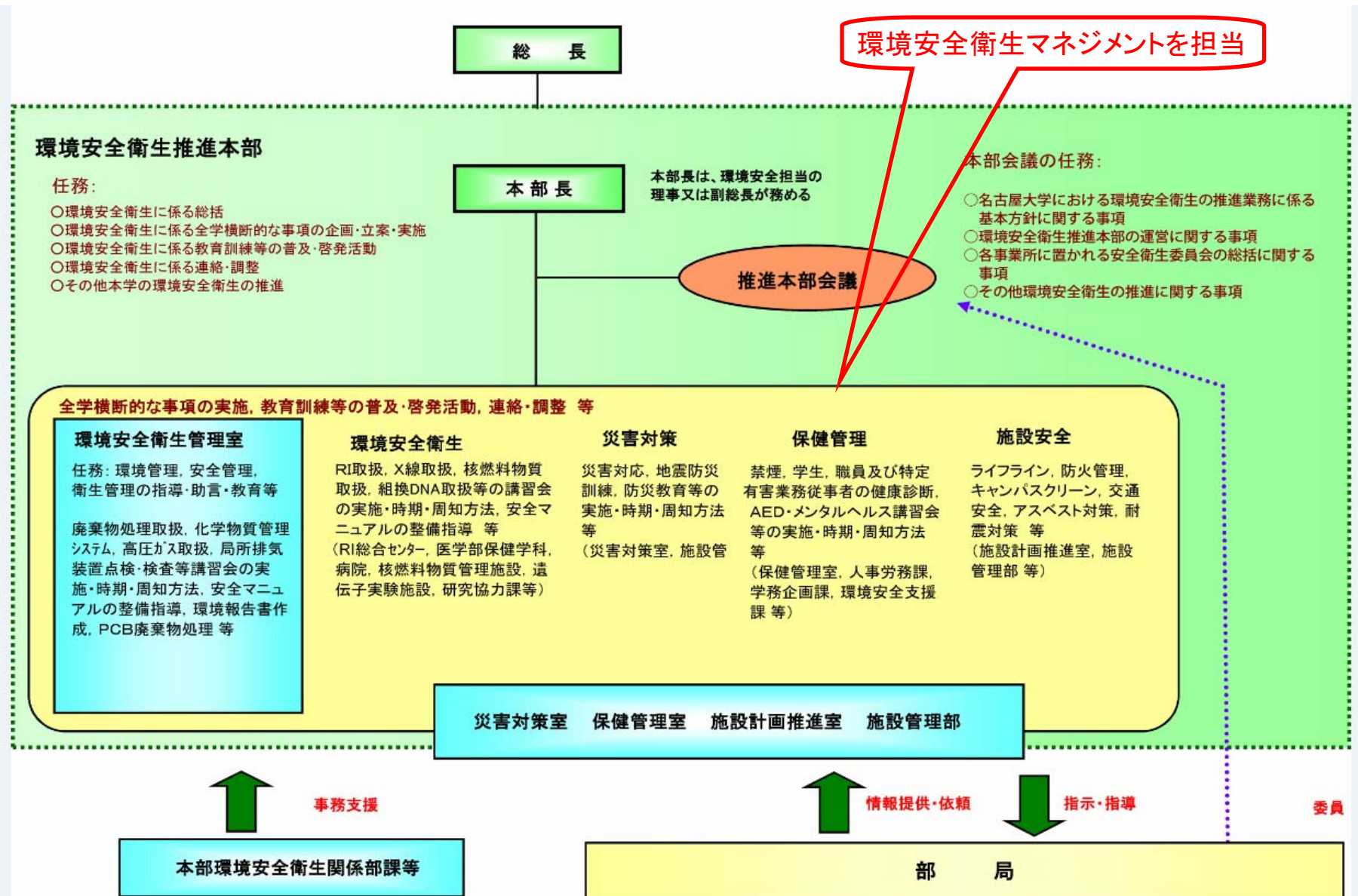


名古屋大学の統合施設マネジメントイメージ図

■ 名古屋大学施設マネジメント体制図 (サステイナブルキャンパス推進)



環境安全衛生推進本部組織図



■ 環境安全衛生マネジメント

- **安全管理(SM)**: リスク管理(RM)、危機管理(CM)、事業継続管理(BCM)
施設管理部、施設計画推進室、環境安全衛生管理室、災害対策室
保健管理室、原子力委員会が連携して環境安全推進本部を組織して
環境安全衛生、災害対策、保健管理、施設安全のマネジメントを実施

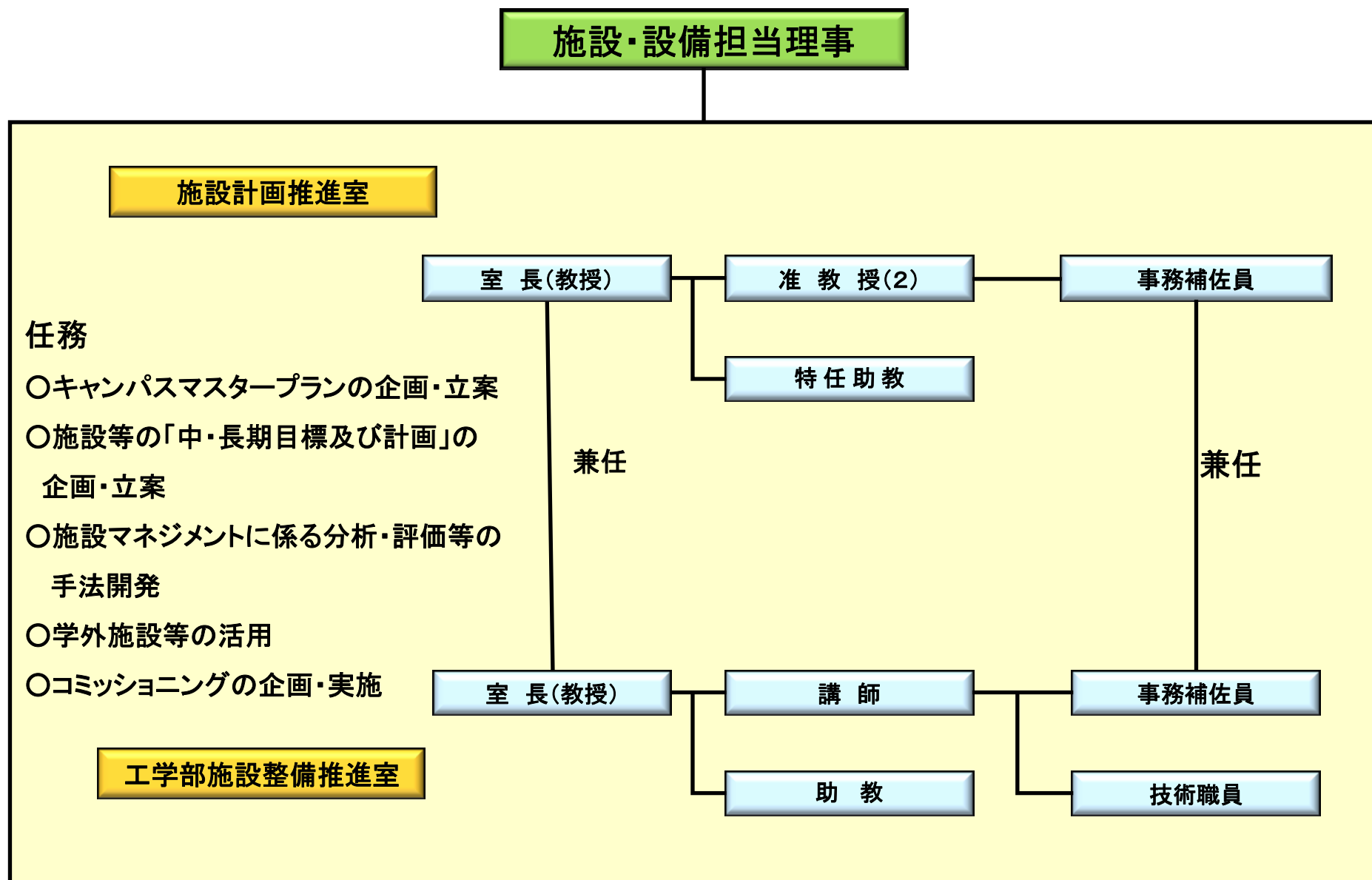
化学物質管理システム・高圧ガス管理システムの企画と運用
実験系廃棄物の回収と処理、実験系排水の水質管理
安否確認システムの企画と運用、防災訓練の企画と実施
緊急地震速報システムの運用と学内周知、防災放送システムの運用
気象災害情報の提供、バリアフリー対策、環境報告書の企画と発行
施設点検パトロール

■ **環境管理(EM)**

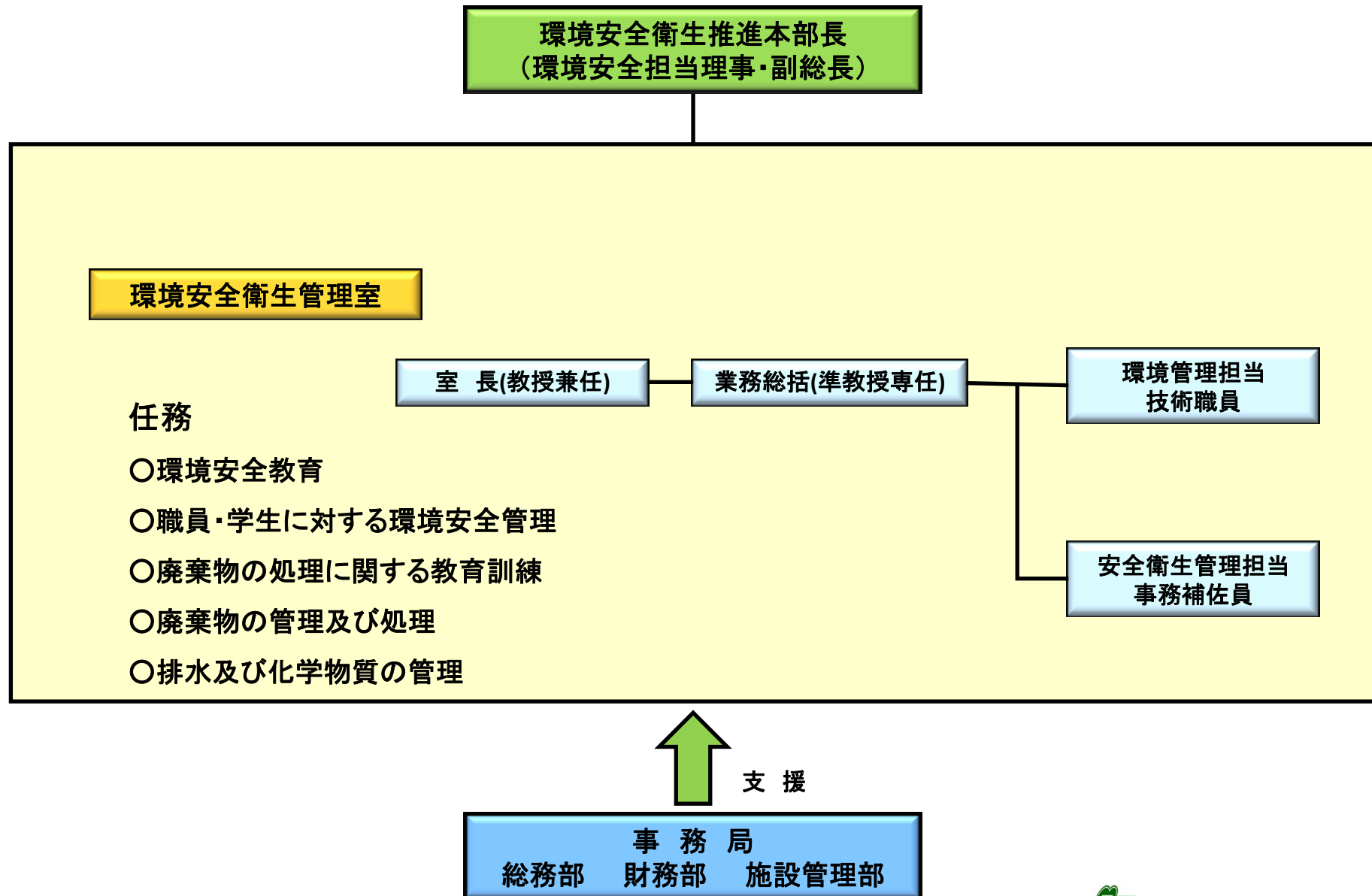
施設管理部、施設計画推進室、環境安全衛生管理室が
連携して、緑地管理、交通、一般廃棄物、
植栽、伐採、剪定、芝生管理、草刈り、病虫害対策、蜂対策
構内入構制限と駐車場管理、交通安全管理
一般廃棄物の分別回収と処理、資源ゴミのリサイクル処理



■ 施設計画推進室組織図



■ 環境安全衛生管理室組織図



■ 災害対策室組織図

